

# 福祉教育推進事業 ～手話教室～

南北小学校において、総合学習の時間に渋川市聴覚障害者福祉協会会員の星河ふじ子氏を講師に迎え「手話教室」を行いました。

まず、耳が聞こえなくなった原因や生活で困った事など自身の体験をお話いただき、児童も真剣に耳を傾けていました。



また、簡単なあいさつや学校に関する手話を教えていただいた後、友達同士で実際に手話で会話を練習しました。

はじめて手話に触れる児童の表情は戸惑いもありましたが、最後には質問も多く、手話を身近に感じ、耳が不自由な方への理解を深め、相手のことを考える時間になったようです。



# 見守りネットワーク事業 「住民支え合いマップづくり」

2月27日に見守りネットワーク事業「支え合いマップづくり」を南部コミュニティーセンターにおいて、全村21行政区を対象に開催しました。



前回参加された方々も多く、自然と世代を超えた地域の情報共有や意見交換が行なわれていました。

参加者からは「行政区全体でやると顔見知りになれる」「雪害のあの日マップづくりに参加してたから声をかけ合うことができた」などの感想をいただきました。



マップづくりは、各区役員、民生児童委員、消防団、防災ボランティア、村内福祉施設の職員の方々と協力し、要援護者（一人暮らしや高齢者世帯、障害児者等）を地図上に明記し、日常的な見守り活動、災害時等に迅速な対応につなげることを目的に実施しています。

